



鶴の便り

令和7年7月10日
 第175号
 発行 夕鶴の里
 住所 南陽市漆山2025-2
 Tel 47-5800

おきたま語りフェスティバルが 開催されました

満員御礼

6月15日(日)、夕鶴の里語り部ホールを会場に第13回おきたま語りフェスティバルが開催されました。

置賜地区の8団体の語り部の会から、それぞれの地域に伝わる語りや、寸劇が披露されました。

会場にはおよそ100名のお客様にお越しいただき、「大人だけではなく、子どもの語りも聴けてよかった。」「心癒される時間だった。」とのご感想をいただきました。



～題目～



- 『大銀杏』
- 『手なし娘』
- 『置賜のびっきと村山のびっき』
- 『寒風がくされた』
- 『犬の宮』
- 『猫の宮』

寸劇『カッパがくれたすずり硯』

- 『天人女房』
- 『奥の院沼のおしどり』
- 『オオカミのまゆ毛』
- 『かすべとからかい』
- 『殿様からもらったご褒美』



夕鶴の里資料館クイズ

夕鶴の里では絹を作るのに欠かせない蚕についての展示もあります。蚕の育成は難しく、昔から「〇〇の虫」とよばれていました。さて、何の虫とよばれていたでしょう？

- A. 金の虫
- B. 運の虫
- C. 博打の虫
- D. 獅子身中の虫

答えは裏面へ→

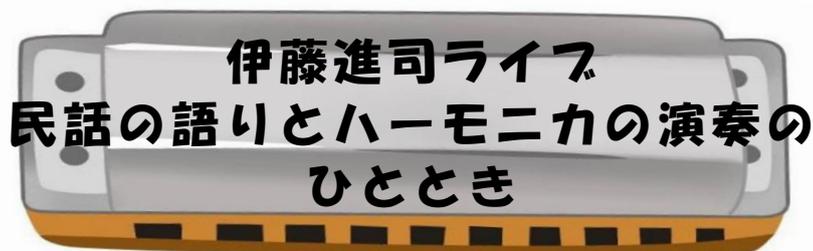


語り部さんを知ろうのコーナー

語り部さんのことをもっと知りたい！皆様にも知っていただきたい！
と思い、立ち上げたコーナーです。

今回は民話会ゆうづる、佐藤久美子さんをご紹介します。

- ① 民話会ゆうづるへ入会したきっかけはどんなことだったのでしょうか？
夕鶴の里の職員だった時に語り部さんの語りを毎日聞いていて、語りの素晴らしさを知り魅了されました。それから語り部養成講座を3年受講して入会させていただきました。
- ② お話しされている民話の中で得意なお話は何ですか？
「若返りの水」が一番最初に覚えた語りなので大好きです。また「鶴の恩返し」は漆山に伝わる伝説民話なので大事に語り継いでいきたいです。
- ③ 民話を語るうえで大切にしている事を教えてください。
方言を大切に、聞いてくださるお客様一人一人に語り(民話)が届くように気持ちを込めて語っています。
- ④ 語り部さんとして一番嬉しかったことはどんなことですか？
やっぱり「情景が浮かびました～」「すごく楽しかった～」「また来ます～」と言ってくれた時は嬉しいです。また、数日後にお手紙をいただいた時もすごく嬉しかったです。



伊藤進司さんプロフィール

「民話会ゆうづる」の数少ない男性の語り部として本年3月まで13年間活躍。

日時：8月23日(土)
13時00分～13時30分

場所：夕鶴の里語り部ホール

お問い合わせ：夕鶴の里まで
Tel0238-47-5800

※事前のお申し込みは必要ありません。
当日会場までお越しください。

そば打ち体験してみませんか？

所要時間3時間程度
1人1,100円
(15名様以上30名まで)
予約制になります。
ご予約・お問い合わせは
夕鶴の里まで



クイズの答え

B. 運の虫

蚕の工サになる桑の生育や原因不明の蚕の病気など、自然に頼る部分が多かったことから「運の虫」とよばれていました。そのようなことから「無事に育ちますように」という養蚕信仰につながっていきました。